

時間外勤務単価の考え方(1時間あたり)

※各技術者単価…令和5年度建築保全業務労務単価による。

1 時間外単価の算出

- (1) 午後5時30分から午後10時
- (2) 午前5時から午前7時30分
- (3) 午前5時から午後10時(閉庁日及び保守期間)

上記(1)～(3)の時間帯の場合は、次のとおりとする。

・時間外単価に諸経費分を乗じボイラー業務費で除した率を時間外単価率とし
落札金額にその率を乗じて時間外の単価とする。

・運転業務を主に行う技術者の時間外単価とする。

$$\text{時間外単価} \times \frac{\text{ボイラー業務費}}{\text{直接人件費}} \div \text{ボイラー業務費}$$

$$= \text{時間外単価} \div \text{直接人件費} = (\text{A}) \text{時間外単価率(小数第6位切捨て)}$$

落札金額	×	(A)	=	
------	---	-----	---	--

2 時間外単価の算出(深夜)

午後10時から午前5時(勤務日及び閉庁日、保守期間共通)

上記時間帯の場合は、次のとおりとする。

・深夜時間外単価に諸経費分を乗じボイラー業務費で除した率を時間外単価率とし
落札金額にその率を乗じて時間外の単価とする。

・運転業務を主に行う技術者の時間外単価とする。

$$\text{深夜時間外単価} \times \frac{\text{ボイラー業務費}}{\text{直接人件費}} \div \text{ボイラー業務費}$$

$$= \text{深夜時間外単価} \div \text{直接人件費} = (\text{B}) \text{深夜時間外単価率(小数第6位切捨て)}$$

落札金額	×	(B)	=	
------	---	-----	---	--